

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク メールマガジン vol.1 (創刊号)

九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 会員の皆様

日頃より農林水産行政及び国内肥料資源の利用拡大に関する取組等へのご理解・ご協力ありがとうございます。

《ご挨拶》

令和6年2月に九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワークを立ち上げ、同月21日にオンラインで第1回勉強会を開催したところです。

3月28日時点で、114の機関・個人の皆様にネットワーク会員登録をいただいております。会員の皆様への有益情報や新たな知見、関係者間の情報共有を地道ながら継続して発信していきたいと考えており、今回、メールマガジン創刊号を発行いたします。国内肥料資源の利用拡大につなげていただければ幸いです。

ネットワーク事務局より3点情報提供させていただきます。

1. 令和5年度補正予算「国内肥料資源利用拡大対策事業」の第3次募集を行います(予定)。

第3次募集(募集期間:令和6年4月8日(月)~4月23日(火)(予定))では、「令和6年度内に事業完了する事業実施計画書」を対象として、事業実施主体の募集を行う予定です。

なお、募集期間終了後、事業実施計画書の審査等を経て、補助金交付候補者の選定を行います。補助金交付候補者に選定された場合、所定の手続を経た上で事業の着手が可能となる時期は、次のとおりとなりますので御留意ください。

●国内肥料資源活用施設総合整備支援(施設等整備)を含む事業実施計画書の場合:早くても令和6年7月下旬頃

●国内肥料資源活用総合推進支援(肥料の試作、栽培実証、機械導入等)のみの事業実施計画書の場合:早くても令和6年6月下旬頃

【令和5年度補正予算「国内肥料資源利用拡大対策事業」詳細については、以下(農水省HP)をご覧ください。】

[国内資源の肥料利用の拡大について:農林水産省\(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

[国内肥料資源活用総合支援事業\(令和5年度補正予算\)の募集情報:農林水産省\(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp)

2. 「国内資源由来肥料の活用事例集」が更新されました!

国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の取組として、全国各地の多様な主体による国内資源由来肥料の活用事例を、3つの国内肥料資源(1.家畜ふん、2.下水汚泥資源、3.その他(食品残渣等))別に収集し、公表されています。

【現時点の事例数⇒家畜ふん:49事例、下水汚泥資源:27事例、その他(食品残渣等):23事例】

[先進事例の横展開・関連情報の提供:農林水産省\(maff.go.jp\)](http://maff.go.jp) (ページ中央付近)

3. 循環型社会の構築へ！下水汚泥の最大限の肥料利用に向けたマニュアルを公開！～下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書が公開されました～

国土交通省で、下水汚泥資源についての肥料利用の拡大推進の一環として、「下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書（案）」が作成されました。

本手順書では、下水汚泥資源の肥料化を自治体が検討する際の手順をフロー図で示され、各段階において検討すべき事項を章ごとに分かりやすく説明されています。

また、昨年 10 月に新たに設定された肥料の公定規格である「菌体りん酸肥料」についても解説されており、肥料登録の方法等が紹介されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000546.html

=====

★ネットワーク会員登録について

会員登録を希望される方は「九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク設置要領（[kyushu_hiryounetwork-2.pdf \(maff.go.jp\)](#)）」をご覧ください、内容について同意の上、こちらのフォーム（[九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの会員登録について：九州農政局 \(maff.go.jp\)](#)）から会員登録のお申し込みください。

なお、申し込みによって得られた個人情報は、本ネットワークの活動以外には使用しません。

★会員の皆様からの情報を受け付けています

国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報を随時受け、関係者による取組に関する情報を発信します。会員の皆様からの情報は、[こちら](#)から受け付けております。